

MAY

13



YMCAせとうち 野外活動友の会 低学年 5月例会のご報告 (魚釣り)



5月は蒜山塩釜養魚センターにて、魚釣りをしてきました。あいにくの雨でしたが、こどもたちは釣りの説明の時から興味津々で、雨の中でも元気に釣りを楽しんでいました。はじめはどの子も釣ることができず、苦戦していた様子ですが、「餌の量を増やしたらいいんじゃないか」とか、「もっと食いついてから引くといい」とか、どの子も色々工夫していました。いざ釣れると、嬉しくてリーダーや友達に見せてまわる子や、びっくりして触れない子、「これ、レアな魚じゃね?！」と魚を観察する子と、様々な反応が見られました。また、さばくことも、最初はおっかなびっくりでも、勇気を出してやりきって、「気持ち悪かったけどできたよ!」と誇らしそうにしていました。頑張った甲斐があって、魚はとても美味しかったようです。なんと1人2匹ずつ食べたグループもありました。「自分で」釣って、さばいて、食べたという経験が、こどもたちの心に何かを残してくれていると嬉しいです。

堀 初穂 (はーちゃんリーダー)

「命をいただく」ということは、残酷なようですが毎日私たちがしていることです。でも普段は見えないところで誰かがしてくれています。今回は自分たちで魚をさばくことで、「命をいただく」ことを実感をもって理解してもらおうと計画しました。私たちは、何かの命をいただきながら生きています。でも今、その命がとても軽く扱われているように感じます。日本では1年間に1900万トン以上の食べ物が廃棄されているそうです。そのほとんどは、何かの命でできています。この機会に、おうちでもこのことについてお話してみてください。

低学年担当ディレクター：白鳥雅人